

各常任委員会の 主な質疑から

総合企画水道常任委員会

● 老朽化した水道管の更新は、計画的に実施しているのか。

また、更新の基準はあるのか。

● 現在は、漏水や赤濁水の発生の多い管路を優先的に更新している。今後は、配水管等の布設年度、漏水や赤濁水の発生状況、破損した場合の断水区域などの影響の大きさなどを考慮して優先順位を定め、平成二十二年度をめどに具体的な更新計画を策定していく。

総務常任委員会

● 石油コンビナート等災害防止法の改正に伴い、設置が義務付けられた大容量泡放射システムとはどのようなシステムなのか。

また、どのようにしてタンク火災を消火するのか。

● 大容量泡放射システムとは、石油タンクの全面火災の消火に用いる消火用資機材で、具体的には吸水ポンプにより海から水を吸い上げ、その水を消火剤の原液と一定の割合で混合装置を使い混合し、直径約三十七センチメートルの放水砲で放射するものであり、本県において配備が予定されているシステムは、毎分三万リットルの放水を二セット同時使用し、二時間、連続放射できるものである。

また、タンク火災の消火方法は、火災が起こっている油の表面を大量の泡で覆い、空気を遮断して消火するものである。

健康福祉常任委員会

● がん拠点病院の医師不足問題が新聞報道されたが、専門医などが拠点病院の医療スタッフの育成について、千葉県ではどのように取り組んでいるのか。

県では、平成十九年度から、

がん診療の専門医を育成するため、全国から医師を公募し、研修を行った後、県内の地域がん診療拠点病院で勤務してもらう「がん専門研修医育成事業」を実施しており、現在、六名が千葉県がんセンターで研修を受けている。

また、がん診療に当たる看護師を養成するため、「がんにおける質の高い看護師育成事業」を実施しており、平成十九年度には十四名の看護師が研修を修了した。

がん医療は専門性の高い医療であることから、今後も質の高い医師等の養成に努めていきたい。

環境生活警察常任委員会

● 外来種であるアライグマの農作物被害が増えているが、本県の被害状況はどうか。

また、防除についてどのように取り組んでいくのか。

● アライグマによる農作物被害は、平成十六年度に七十六万円であったものが、平成十九年度には六百八十六万と九倍になっている。

県では、外来生物法に基づき「アライグマ防除実施計画」を策定し、県内すべての市町村の同意を得て、六月十九日に国に確認申請を行ったところである。

今後、国の確認を得られ次第、市町村と連携しアライグマ根絶に向けて積極的に防除を進めていく。

商工労働企業常任委員会

● 立地企業補助金について、現行の補助制度が始まった平成十七年度以降に立地した企業の雇用や税金などの費用対効果について、検証しているのか。

● 税金については、不動産取得税で補助金の半分程度が回収されており、他の税金を含めると操業を開始した翌年度には、補助金を上回る額を回収している。

雇用については、平成十九年に立地した九十社のうち六十六社について把握しているが、約三千六百六十人、平成十七年の約三千八百人、平成十八年の約三千二百

人と合わせて、三年間で約一万人の雇用効果があった。

農林水産常任委員会

● 飼料用米の利用方法の研究はどうなっているのか。

● 玄米では、乳牛で二〇%、肉用牛で四〇%、豚・鶏で五〇%をトウモロコシと代替できる。

現在は、リキッドフィード(液状飼料)での活用が進められており、もみ米の状態での給餌方法についても研究しているところである。

県土整備常任委員会

● (仮称)印旛沼橋梁について、道路と鉄道両事業の一体化による工事コスト、材料の縮減の効果はどうか。

● 両事業を単独で建設した場合と比較すると、栈橋工等の仮設工事を一元化できることなどから、約四%、二億六千万円程度の縮減となる。

文教常任委員会

● 指定管理者制度の導入に向けて、現在、休止している総合スポーツセンターの相撲場及び水泳場を廃止することだが、これらの競技の振興についてどのように考えているのか。

● それぞれの競技団体が県民のスポーツ振興に果たしてきた役割の大きさを踏まえ、今後も継続して競技力向上事業などを通じた支援を行っていく。

可決・承認・同意された議案

- ◆ 条例の制定(一件)
 - ▽千葉県総合スポーツセンターの管理等に関する条例
 - ▽千葉県県税条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
 - ▽千葉県職員定数条例等
- ◆ 条例の一部改正(十三件)
 - ▽千葉県青少年女性会館設置管理条例
 - ▽千葉県中小企業融資損失てん補条例
 - ▽千葉県都市計画事業土地地区画整理事業施行条例
 - ▽教育機関設置条例
 - ▽千葉県水道事業給水条例等
 - ▽千葉県大房岬少年自然の家の管理等に関する条例を廃止する条例
 - ▽契約の締結(三件)
 - ▽千葉県道路公社の行う有料道路の事業計画の変更
 - ▽専決処分承認(一件)
 - ▽人事委員会委員の選任同意
 - ▽監査委員の選任同意(二件)

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県恩給条例

▽千葉県立衛生短期大学設置管理条例

▽千葉県医療技術大学校設置管理条例

▽千葉県青少年女性会館設置管理条例

▽千葉県中小企業融資損失てん補条例

▽千葉県都市計画事業土地地区画整理事業施行条例

▽教育機関設置条例

▽千葉県水道事業給水条例等

▽千葉県大房岬少年自然の家の管理等に関する条例を廃止する条例

▽契約の締結(三件)

▽千葉県道路公社の行う有料道路の事業計画の変更

▽専決処分承認(一件)

▽人事委員会委員の選任同意

▽監査委員の選任同意(二件)

採択された請願

- ▽協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書の提出について

ちば中学生原議会において 可決された決議

心豊かで住みよい ちばづくりに関する決議

私たちの住む千葉県は、今年で開港三十周年を迎えた成田国際空港、二十五周年を迎えた東京ディズニーランドなど、私たちが誇れる日本を代表する施設を数多く有しています。また、三方を海に囲まれ、温暖な気候で自然にも大変恵まれた生活環境にあります。しかし、二十一世紀の現在に至り、急速な高齢化や、地球温暖化をはじめとする環境問題など、深刻な社会問題が取り沙汰されるようになってきました。私たちが、これからの千葉県を担っていくという自覚を持ち、これらの問題について真剣に考えていく必要があります。

これからの時代を生きる私たちは、地球にやさしく、人を思いやる心を大切に、将来、人々からの信頼と尊敬を得られる人間となるよう努力することが大切です。

そのためには、私たち一人ひとりが学校生活や地域生活などあらゆる面において、省エネルギーや省資源、リサイクルなどに取り組むことにより、限られた自然や環境を大切にしよう心がけ、また、お年寄りの方に交通機関の席をゆずるなど、思いやりの心を持った行動を実践していくことが必要です。そして、体の不自由なお年寄りや障害のある方が、地域で快適に暮らしていくために、段差の解消やスロープの設置など、バリアフリーなまちづくりを進めていくことも重要なことと考えます。

このような立場から、ちば中学生原議会として、私たち中学生はもろろん全ての千葉県民が、環境を大切にしよう心がけ、人を思いやる心を育み、人と自然が共生でき、誰もが幸せに暮らしている心豊かで住みよいちばの実現に向けて、一層努力していただくことを、強く希望します。

議会において 選任された委員・議員	
監査委員	河上 茂 (自民党) 堀江 はつ (民主党)
君津広域 水道企業団 協議会議員	江野澤吉克 (自民党)

常任委員会委員									議会運営 委員会委員	
委員会名	総合企画水道	総務	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教	16/16	
定数/現員	12/12	12/12	12/12	12/12	12/11	11/11	12/12	12/12	委員長	遠藤 澄夫 (自民党)
委員長	山中 操 (自民党)	石毛 之行 (自民党)	信田 光保 (自民党)	矢野 光正 (自民党)	木名瀬捷司 (自民党)	服部 友則 (自民党)	鈴木 昌俊 (自民党)	白井 正人 (自民党)	副委員長	宍倉 登 (自民党)
副委員長	西尾 憲一 (自民党)	今井 勝 (自民党)	木下 敬二 (自民党)	亀田 郁夫 (自民党)	鈴木 衛 (自民党)	秋山 光章 (自民党)	江野澤吉克 (自民党)	伊藤 昌弘 (自民党)	委員	宇野 裕 伊藤 丈 佐藤 正己 阿井 伸也 西田 三十一 白井 正一 谷田部勝男 大野 眞 内田 悦嗣 内田 悦嗣 信行人 中 喜一郎 小泉 文郎 堀 喜史 篠崎 良治 塚定 慎一 丸山 立幸 川本 彰 佐野 彰
委員	自民党	斎藤 万祐	川名 寛章	田久保尚俊	本清 秀雄	酒井 茂英	遠藤 澄夫	鈴木 良紀		
		成尾 政美	石橋 清孝	河上 茂	阿部 紘一	伊藤 和男	近藤喜久夫	宇野 裕		
		岡村 泰明	皆川 輝夫	阿井 伸也	白井 正一	石井 利孝	伊藤 丈	小島 武久		
		伊藤 勲	谷田部勝男	西田 三十五	瀧田 敏幸	山口 登	佐藤 正己	吉本 充		
		渡辺 芳邦	大松 重和	松下 浩明	林 幹人		大野 眞	内田 悦嗣		
民主 公明 共産 市民ネット・社民・無所属 無所属	河野 俊紀 花崎 広毅 高松健太郎	田中 明 田中 信行人 田中 小泉	堀江 はつ 遠藤 英喜	杉田 守康 竹内 圭司 矢崎聖太郎	天野 行雄 布施健太郎	岩井 覚 横堀喜一郎 磯部 裕和	黒田 雄 高木 衛	湯浅 和子 石井 宏子 篠崎 史範		
		阿部 俊昭	石川 信一	吉野 秀夫	藤井 弘之		塚定 良治	赤間 正明		
		小松 実	丸山 慎一	大野 博美	小宮 清子	吉川 洋	三輪 由美	岡田 幸子		
				佐野 彰		川本 幸立			委員外議員	丸山 立幸 川本 彰 佐野 彰